

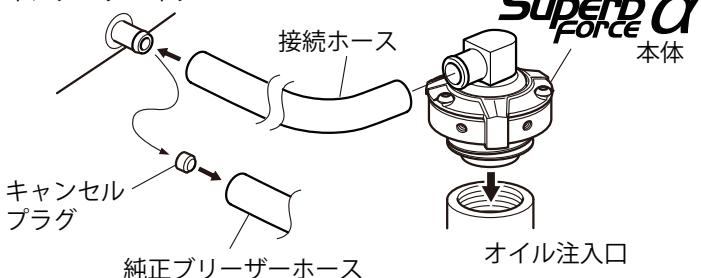
Superb Force α (alpha) 取付ガイド(標準タイプ) スバル水平対向エンジン用

この度はNAG SED 内圧コントロールバルブ (シュパーブ・フォース・アルファ) をお買い求め頂き誠にありがとうございます。
この説明書は内圧コントロールバルブの一般的な取付方法をご案内するものです。取付をおこなう車種、年式により取付方法がこの説明書と異なる場合があります。
また製品の仕様 (グレード) によって取付方法に違いがあります。ご購入された仕様をご確認の上、取付をおこなって下さい。

1 基本取付図

シュパーブ・フォース・アルファはエンジンのオイル注入口に下図のように装着します。

エアクリーナー又はインテークパイプ



2 構成内容

以下のものがセットとなっております。ご確認ください。



ブリーザーホースが複数ある車両は、ブリーザーホースの本数分、キャンセルプラグが必要です。

接続ホース、固定用タイラップなどは、取付車両にあったサイズのものをお客様にてご用意ください。

高年式車 (8年以上経過した車両)は、より性能を活かして頂くために、NAGバルブ装着と同時のPCVバルブの交換をお勧めいたします。

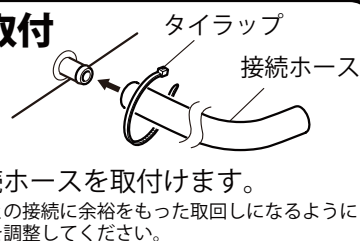
3 ブリーザー接続ホースの取付

エアクリーナー又はインテークパイプ
純正ブリーザーホースを外します。

外した純正ブリーザーホースにキャンセルプラグを挿入し純正ブリーザーの機能を停止させます。

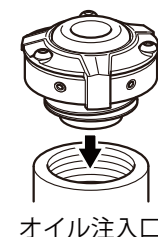
ブリーザーホースが複数ある車両は、全部のブリーザーホースにキャンセルプラグの挿入が必要です。

ボルト等を取付けて挿入すると作業が容易です。

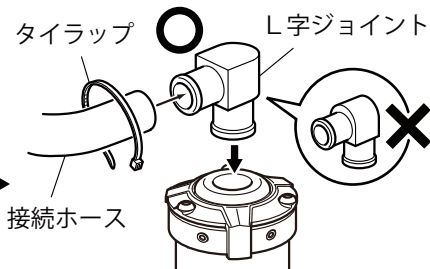


4 シュパーブ・フォース・アルファ 本体の取付

本体をエンジンのオイル注入口に取付けます。



オイル注入口



L字ジョイントの向きに注意して接続ホースに取付け、L字ジョイントを本体に挿入します。

以上で取付は終了です。

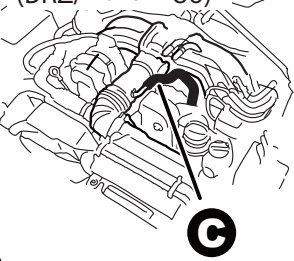
シュパーブ・フォース・アルファ / エンジン別 キャンセルプラグ取付位置 (一例)

⊙ = キャンセルプラグ挿入位置

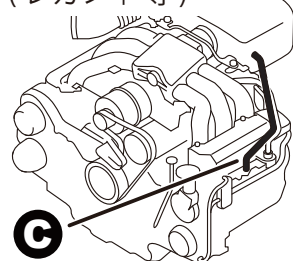
一部の車種、年式を例にとつてのキャンセルプラグの取付説明をおこなっていますので、車種、年式により作業箇所や形状がこの説明書と異なる場合があります。

車種によりキャンセルプラグを複数使用する場合もあります。実際の取付車両での必要数をご確認ください。

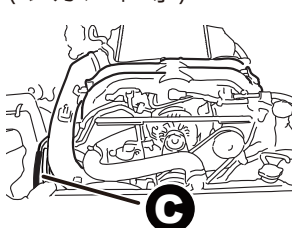
FB20 型エンジン (BRZ/ TOYOTA 86)



H6 EZ30 型エンジン (レガシィ 等)

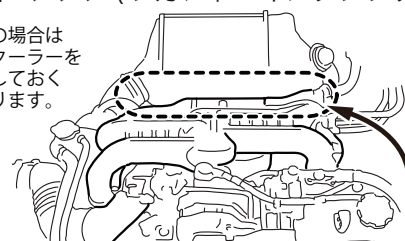


EJ25 型エンジン (AVCS ターボ) (レガシィ 等)

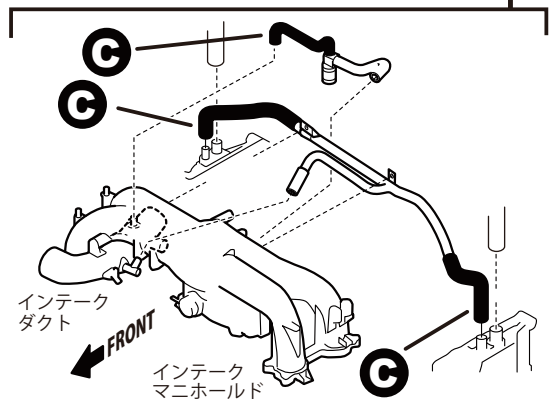


EJ20 型エンジン (レガシィ・インプレッサ等)

ターボ車の場合はインタークーラーを事前に外しておく必要があります。



EJ20 エンジンにはブリーザーホースが3か所あります。3か所全部にキャンセルプラグを挿入します。



定期清掃

本品はエマルジョンの処理は出来ませんが、同時発生するスラッジは防ぐことは出来ません。スラッジは作動部分には付着しませんが、乾燥固着すると除去が困難になります。長持ちさせるためにも、乾燥固着する前に走行距離に合わせて、年1〜2度、又は、オイル交換時に定期的な清掃をお奨め致します。

清掃方法

軽度の汚れの場合はパーツクリーナーや灯油、ガソリンで丸洗いで清掃してください。汚れがひどく除去出来ないときには、キャブクリーナーを使用してください。また清掃にはブラシなどは使用しないでください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。ご不明の点はお問い合わせください。